

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

2月補正

事 項 事 業 概 要 K P I	事 項	介護福祉士修学資金等貸付事業費								予算主管課		保健福祉課	
	事 業 概 要	県社会福祉協議会が、学生の介護福祉士資格の取得促進や離職した介護人材のうち一定の経験を有する潜在人材の呼び戻し等を図るため実施している介護福祉士修学資金等貸付事業について、貸付原資の不足が見込まれることから必要な原資の補助を行う。								始期		H27	
										終期			
	貸付を受けた者のうち、県内で福祉・介護の職に従事し、返還免除となった者												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度		
	現状値	62	%	目標値	90	%	目標値	90	%	目標値	90	%	
				実績値	53	%	実績値		%	実績値		%	
				達成率	58.89	%	達成率		%	達成率		%	
コ ス ト			最終現計予算額	39,695	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額		千円		
			決算額	39,017	千円	決算額		千円	決算額		千円		

5年度

要因分析

評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）
評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。実績値が目標達成しなかった要因を外的要因も含め具体的にデータ等を用いながら様々な視点を踏まえて記入。）令和5年度の実績値は、令和6年3月31日現在で返済免除となった者の割合であり、今後、やむを得ない事由等により債務の履行が猶予されている者が免除対象者となることで、割合（実績値）も上昇する見込み。【参考】令和4年度の実績値は令和6年3月31日現在で74%まで上昇。

総括（事業最終年度の場合、要記入。）

見直し方向性

見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））
今後、やむを得ない事由等により債務の履行が猶予されている者が免除対象者となることで、KPIの目標値を達成する可能性は十分にあることから、令和7年度予算の見直しは想定していない。

2

当初

事 項 事 業 概 要 K P I	事 項	外国人介護人材受入支援事業費								予算主管課		保健福祉課	
	事 業 概 要	外国人介護人材の受入体制を支援するため、外国人介護人材センターの設置による相談員巡回訪問や、マッチングコーディネーターの配置による中国での合同説明会を実施するとともに、介護技能向上を目的とした各種研修等に要する経費を補助する。								始期		R 1	
										終期			
	EPA及び留学生介護福祉士候補者の介護福祉士資格取得者数												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	時点・期間	R 4 年度		時点・期間	R 5 年度	時点・期間	R 6 年度	時点・期間	R 7 年度	時点・期間	R 8 年度		
	現状値	13	人	目標値	7	人	目標値	12	人	目標値	13	人	
				実績値	6	人	実績値		人	実績値		人	
				達成率	85.71	%	達成率		%	達成率		%	
コ ス ト			最終現計予算額	35,905	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額		千円		
			決算額	15,605	千円	決算額		千円	決算額		千円		

5年度

要因分析

評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）
目標値には1名及ばなかったものの、全受験者8名中6名が合格している。受入施設において、補助金を活用して効果的な学習支援が行われているものと認識している。

総括（事業最終年度の場合、要記入。）

見直し方向性

見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））
令和5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も受入施設を支援することで、KPIの目標は達成すると考えられることから、本事業における介護福祉士国家資格取得に向けた支援等は7年度予算においても維持する。

